

情報公開と説明責任を果たせ

山本 一也 議員

答 市民にわかりやすく説明



山本 厳しい財政状況のもと「選択と集中」をもつて協働のまちづくりをすすめるためには、しっかりと情報公開し、行政として説明責任を果たすべき。①「元気なまちづくり推進補助金」の廃止理由②「地方公共団体の財政健全化に関する法律」に向けた財政再編への取り組み③江田島中学校建設工事の落札率の公表について。

市長 ①「元気なまちづくり推進補助金」は、行政改革における補助金の見直しの中で「使途を限定せず使いやすい補助金」との意見から「自治会等補助金」に一本化②財政健全化新法の平成21年度施行にすみやかな対応ができるよう準備をすすめる。③現行の事務取扱要領では公表できない。公表について要領改正に前向きに取り組む。

財政状況を市民に分かりやすく正しく説明を

山本 協働のまちづくりには、市民の協力が不可欠。その第一歩として、市の厳しい財政状況について分かりやすく説明し

正しく理解してもらおう為の取り組みを期待する。**市長** 重要性を十分に認識し、財政状況を家計に

例えるなど市民に分かりやすいものにし、説明責任を果たすよう取り組みを進める。



▲ 花いっぱい運動

越野 税源移譲に伴い、課税の役割が国から地方へシフトされた。当市の徴収率滞納対策について、部門ごとの状況を伺う。
市長 今後、自治体が生きていくためには自主自立しなければならぬ。財源確保は一時の猶予も許さず、公平公正な課税を把握し、納税事務に一層の力を注ぐ。
市民生活部長 江田島市税等収納推進要領に基づき、42名の職員が日夜財源確保に努めている。その結果、18年は徴収率は7・33%アップし、98・1%でした。
教育次長 給食費の滞納については、まず督促状を送り、未納の場合は再送、電話による督促を行



断水時の対策は

浜西 金満 議員

答 安定供給に努める



▲ 断水時のボランティア活動

浜西 県営水道の崩落事故から一年が経ちました。崩落による断水は市民の生活を直撃したが、江田島市の緊急時の自主水源の確保や行政の危機管理は充分ではないと思うがどのような対策をしていますか。

市長 自己水源が少ないので5つの浄水道の整備をしたり、緊急に備えて給水拠点を地区にしたりしている。

浜西 昨年の教訓を生かして井戸水の活用を進めていませんか。

企業局長 市の方からは進めていないが、井戸水も大切な水源です。

浜西 断水時における自治会の助け合いも活発だったが、地域の防災組織の進み具合は、どうです

か。
総務部長 それぞれの地域で立ち上がっています。
浜西 太田川の水が海底を通過して島に来るといのは、島民の悲願の施設でした。

送水トンネルの複線化の実現は、どうですか。
企業局長 江田島市の工事費の負担額が七億円かかるので、検討していません。

浜西 海底トンネルの複線化に慎重な姿勢ですが、行政にはかけがえのない水を安定供給する、責務がありますので、自主水源の確保にも知恵を出す一方、県のリーダーシップにも期待します。

市民税等の徴収率は

越野 哲也 議員

答 財源確保に努めている

い平成18年度は99・3%でした。

福祉保健部長 保育料の徴収率は、18年度分が96・3%でした。

督促状を送り、さらに園長から直接保護者に催告状を手渡している。

企業局長 業務課に4名の徴収係員を用意している。18年度は、99・9%で、現在、悪質な滞納者はいないと考えている。

土木建築部長 住宅使用料の18年度分は、1千608万円で85・86%です。

徴収業務は、電話や戸別訪問を行っており、悪質滞納者は明け渡し請求を行うことにしている。

越野 悪質滞納者の財産差し押さえ措置は。
市民生活部長 不動産6件、給与11件、預金2件、



生命保険6件を平成18年度に実施。
越野 自動車、動産は。
市民生活部長 コストや労力面などから行っていません。

るためにも、徹底した徴収を望むが、悪質者と生活困窮者とをしっかりと判断し、配慮ある事務を今後お願いする。